

名古屋また魅力度最下位

写真は中日新聞9月6日。名古屋の魅力とイメージ調査が、2年前と同じような結果だったと報じる。河村たかし市長の嘆きの言葉も白々しく感じる。「全国学力テスト」のように、こんな調査や都市比較にどんな意味があるのか、疑問に思うことも多い。

でも、長年にわたり名古屋を調査研究し、まちづくりの「提言」もしてきた者として見過ごすこともできない。大阪に転居して1年近くになり、「大阪人」の立場からも名古屋を見つめている。とりあえず、記事だけでも記録し紹介しておきたい。

名古屋市は5日、国内8都市の魅力やイメージを尋ねる独自調査の結果を公表した。2年前に同様の調査をした時と変わらず、名古屋は魅力度、行きたいと思う街で、いずれも最下位だった。厳しい結果を受け、河村たかし市長は「どえりゃあ頑張らないかん」ということをもう一回確認させられた」と述べた。

調査は札幌、東京23区、横浜、京都、大阪、神戸、福岡、名古屋の8都市に住む20～64歳の男女を対象に、名古屋市観光文化交流局ナゴヤ魅力向上室がインターネットで実施した。各都市のイメージを把握し名古屋市の魅力を発信するのが目的。

名古屋を「魅力的に感じる」とした人は3.5%で8都市の中で最下位。一方、「魅力に欠ける」と回答したのは31.9%で、他都市に大きく差をつけて1位となった。買い物や遊びで訪問したいかどうかを尋ねる項目でも最下位。下から2番目の大阪市にも大きく離された。

他都市では、自らが住んでいる土地を「魅力的」と感じる割合が26～55%だったのに対し、名古屋市民は17%にとどまり、地元に対する評価が低い傾向も変わらなかった。ただ、前回の調査で「行きたくない街」が注目され、テレビや雑誌が名古屋を特集するなどの効果も。市も魅力向上に向けた戦略を策定し、キャッチコピーを作るなどの取り組みをしてきた。その結果か、魅力的や行きたいと感じている人はわずかに増えた。



(2018年10月21日)